

刈谷で小学生親子 独自レシピで競う



協力してオリジナル料理を作り上げる親子＝刈谷市総合文化センターで

地産食材を使い栄養バランスに優れたオリジナルレシピを刈谷市の小学生と保護者が競う料理コンテストが二十七日、同市総合文化センターであった。親子一緒に調理に取り組み、衣浦小六年の鈴木祥世さんの「ザ・カラフル寿司」がグランプリに選ばれた。

この日が本選で、書類選考を通過した五組のうち四組が出場。三十分で調理し、審査員が味、地域性、親子の連携などを審査した。グランプリの鈴木さんのレシピは、郷土料理「箱寿司」を参考にした。コメに大豆を混ぜ、約四年間滞在した米国の太陽を紫タマネギやかまぼこなどで表現した。鈴木さんは「選ばれると思っていたけどとてもうれしい」と話した。

愛知教育大で生まれた県の食育推進キャラクター「食まるファイブ」にちなむ市の恒例コンテスト。テーマは「大豆」。キャラが意味する主食、副菜、主菜、果物、牛乳・乳製品の五つを一皿にまとめたレシピを夏休みに小学五・六

(神谷慶)